

24 春闘「全社員アンケート」集計結果①

実質賃金が上がるベア・一時金に

J-WING

日本航空ユニオン宣伝ニュース
No 252(15-06)
2024年 2月 2日

Tel:03-5756-8690 URL <http://www.jlu.co.jp> e-mail honbu@jlu.co.jp

今年1月に実施した「24 春闘全社員アンケート（回収 274 枚）」の集計結果の報告その①です。

1.全社員アンケート基礎項目

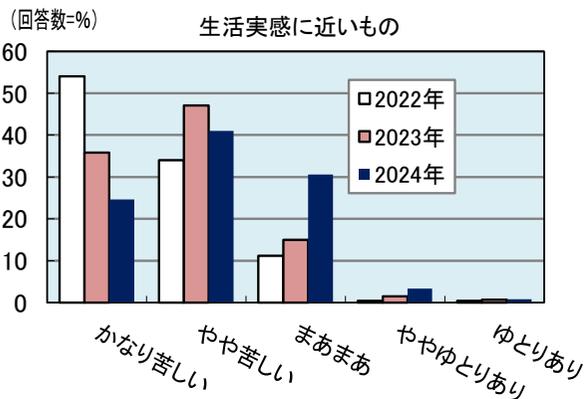
24 春闘アンケートは、JLU 組合員数以上を目指し、職場の人たちにも声をかけて集めています。組合員数は減少傾向にあるため、JLU からの回答が減るのはやむを得ないところですが、組合員の約 33%が未回答。まずは組合員全員参加を実現し、そのうえで JALEC 社員からの回答も伸ばしていければ、職場の声に厚みが出ます。

1.属性年代

基礎項目	運航整備	機体整備	間接部門	その他	所属全体	23全体
JLU	158	36	24	8	226	259
(%)	69.9%	15.9%	10.6%	3.5%	100.0%	100.0%
JALFIO	2	1	0	0	3	2
(%)	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
JAL合計	160	37	24	8	229	261
(%)	69.9%	16.2%	10.5%	3.5%	100.0%	100.0%
JALEC	6	7	0	2	15	8
(%)	40.0%	46.7%	0.0%	13.3%	100.0%	100.0%
その他	0	0	1	0	1	5
(%)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%
23全体	166	44	25	10	245	274

2.生活実態について

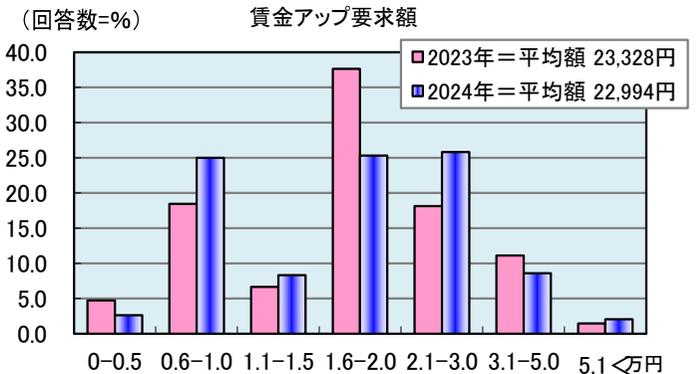
生活実感に関する設問では、「かなり苦しい」がコロナ禍だった 2 年前と比較し半減し、「まあまあ」が 30%を超えました。23 年末の一時金 3 カ月が気持ちを上向きにさせる効果があったのでしょうか。足許の生活は改善していますが、「コロナで減ってしまった生涯年収を何とかしてほしい」という声もあるため、これまでの苦労を考慮した一時金が求められます。



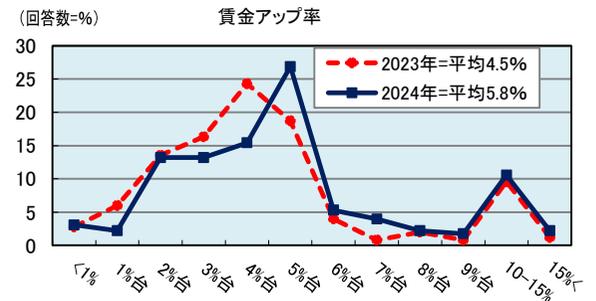
3.春闘で要求するベースアップについて

昨年の 23 春闘では 30 年ぶりの大幅賃上げが実現し、大手企業では 4%近い賃上げとなりました。とはいえ、中小企業の賃上げは限定的で物価上昇も続いていることから日本全体の実質賃金はマイナスで、世界に比べ遅れをとっています。経済の好循環に向けて24春闘ではインフレ率を超える賃上げが必要です。

■ 要求額の分布を見ると、今年は 1 万円、2万円、3万円がほぼ同じ割合で並んでいます。平均額としてはあまり変わっていません。年末から「1万円以上の賃上げ」という報道があったことと、昨年実績以上を求めて1万円と答える方が増えたものと考えられます。



■ 要求のアップ率は平均値で 5.8%になりました。昨年は大きな山が 4%にありましたが 5%にシフトしています。連合は「5%以上の賃上げ」を目標に掲げています。JLU には一般職の賃金の頭打ちになっている組合員も多いため、JLU ではベアで 5%以上を求める声が多くなります。



業務企画職・整備技術職のベースアップは6%必要

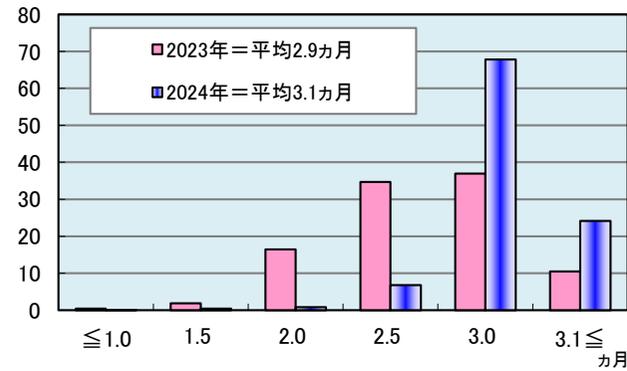
4. 夏期一時金について

■回答の分布を見ると、3.0カ月に集中しています。係数満額回答が実現した年末一時金を受けた後のアンケートですが、その年末以上と答える層は25%程度で、7割近い方が「次も3カ月を」という要求を持っています。JLUでは都度の交渉で一時金を決定するため、春闘では紹介程度になりますが、年間6カ月は通期の予算に組み込むべきと主張します。

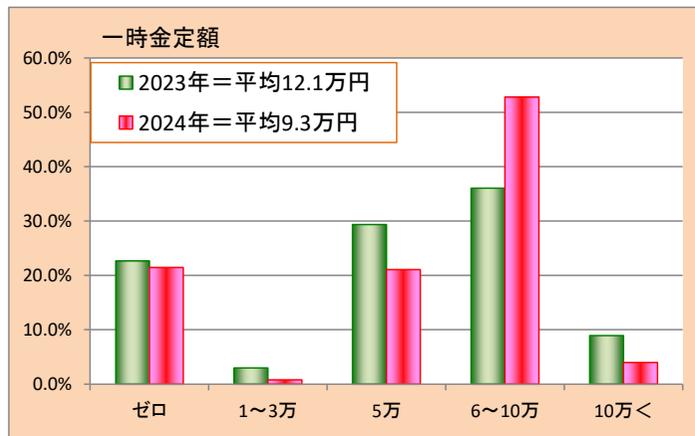
■アンケートでは定額も聞いています。昨年よりも10万円の割合が高くなりました。平均も3万円近く上昇。昨年は期末手当支給時にシニアを含めた全グループ社員に10万円の特別金がありました。

■要求は「夏期一時金は3カ月+10万円」としていますが、10万円の支給時期は幅を持たせて交渉していきます。昨年の特別金のような全社員の頑張りに応える一時金が必要です。

(回答数=%) 一時金係数



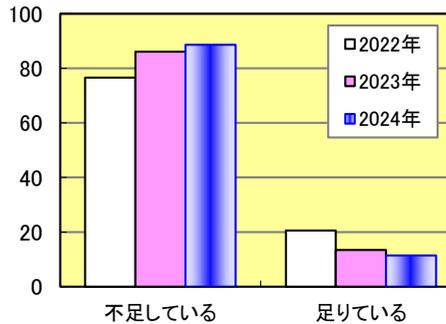
**夏期一時金は
3.0カ月+10万円**



5. 職場の人員について

職場で人員が足りているかどうか聞いたところ「不足している」と答えた人が昨年より少しだけ増えています。アンケートには、昨年6月の羽田の組織変更の問題や外航受託に対応できる人員体制になっていないことに対するコメントが寄せられました。

(回答数=%) 人員不足



職場実態	不足	足りてる	合計
JLU (%)	205 (90.7%)	21 (9.3%)	226 (100.0%)
JLFIO (%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)
JALEC (%)	11 (73.3%)	4 (26.7%)	15 (100.0%)
その他 (%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
24全体 (%)	217 (88.6%)	28 (11.4%)	245 (100.0%)
23全体 (%)	236 (86.1%)	37 (13.5%)	273 (99.6%)

また、年休取得についても聞いていますがこちらは「ほぼ取得できた」「すべて取得できた」を合わせると今回も98%以上になりました。整備現業では年休をしっかり取らせる習慣はあるものの、1日の出面が不足し、出勤している人の負荷が高まる傾向があります。一方で、一部間接職場では取得できていないところもあり、年末に「年間5日間は必ず取得するように」という業連がJALEC内で発行されていました。恒常的に取れない職場があれば組合にご報告ください。

6. 職場実態について

一年前と比べて業務がどうなっているかの質問は今回から「相変わらず忙しい」を加えて4択に変更。「忙しくなった」と「相変わらず～」を足すと87%となり、忙しさの感覚は昨年より上がっているということがわかります。次回以降もこの形式でデータを取ります。

(回答数=%) 業務の実態

